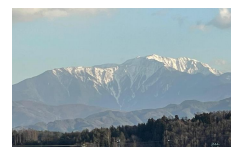


ああ 遠くの空は 晴れている



NO25

南箕輪村教育委員会

第25号では、広報みなみみのわ7月号の回覧文書で案内した、**小中学校の授業風景** 自分のよさと可能性を発揮する子どもたち「共に学び合う」を紹介します。今回は、南部小学校の1年生 図工の授業風景です。

(次回予定) 令和8年 9月号 南箕輪小学校の授業風景です。

小中学校の授業風景

自分のよさと可能性を発揮する子どもたち

共に学び合う

No. 4



身近な材料を使って、
造形遊びを楽しむ子どもたち

南部小学校 1年 図画工作

題材 「ならべて、つなげて、
ペットボトルキャップ」

入学して初めての図画工作の授業。子どもたちが「楽しい!」「またやりたい」と思える造形活動との出会いをつくりたいと考え、学校にあった大量のペットボトルキャップを教材に選びました。

めあて: たくさんのキャップを、じゆうにならべて、つなげてたのしもう。

◆ 個性が光る、夢中の学び

「平らにおいてつなげること」という最小限のルールだけを伝え、屋外へ出ました。

色とりどりの大量のペットボトルキャップと出会った子どもたちは驚くほど多様な個性を輝かせました。

○隙間なく敷き詰める子

○色ごとに美しく分別する子

○大人の想像を遥かに超える巨大な家や生き物を創り上げる子など、目田な空間の中で無限のアイデアが溢れ出します。

色ごとに分けよう



◆ 友だちとの活動からさらに広がる学び

一人で「アリの巣」をつくっていたKさん。迷路のようなものをつくっている近くの友だちと、自然に関わりながら、大きな迷路をつくり始めました。夢中になってつくっていると、次第に周囲の友だちもそこにつながっていきます。最後は10人がかりで巨大なアリの巣迷路が完成。Kさんは「またやりたい!」と大満足でした。

でっかいアリの巣をつくろう!



魅力的な素材は、子どもの意欲を自然と引き出し、他者との自発的な関わり(協働)を生み出す力があります。身近な素材であっても、活動場所や条件・ルールの工夫一つで子どもの無限の可能性を引き出す「輝く教材」になるのだと、子どもたちの豊かな発想力と行動力に深く感服させられた授業となりました。

【このコーナーは、奇数月に、村の小中学校が順番で執筆していきます。】